

# こだま

旭中生が熱く燃えた体育祭 ～青組が優勝、演舞は緑組～

5月23日、「ぬりかえろ!過去を超える”今”を創れ」のスローガンのもと、体育祭が実施されました。生徒は、競技はもちろん、準備や運営そして後片付けまでよくやり遂げました。大きな声が校庭にこだまし、笑顔有り、涙有り。旭中生のエネルギーと団結力を感じた体育祭でした。





## ボランティア活動を通して社会に貢献する旭中生

旭中では、地域の方の御理解・御協力で、生徒に多くのボランティアのチャンスを提供しています。

4月26日には、15名の生徒が宇都宮駅で「緑の募金」への協力を大きな声で呼びかけました。また、5月11日には、中央体育祭に20名の生徒がお手伝いに出かけました。

これからも、満足感や喜びを味わえる活動、働くことの意味を考えるきっかけとなる活動にどんどん参加させたいと考えております。



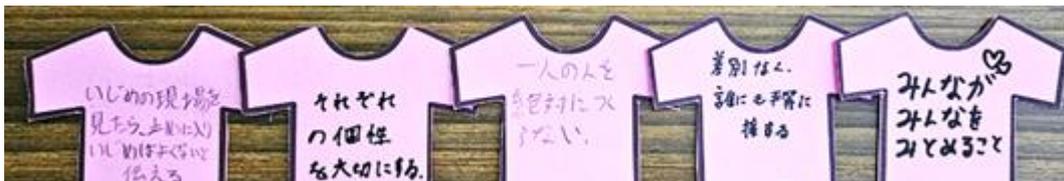
(上) 宇都宮駅で「緑の募金」への協力を呼びかけました。  
(下) 中央体育祭で審判や放送などのお手伝いをしました。



## いじめを絶対にしない・見逃さない・ゆるさない！ ～5月は「いじめゼロ強調月間」です～

7日のお昼の校内放送で、生徒会長の桜井さんが「いじめは決して許されるものではありません。いじめゼロ強調月間で、いじめについてあらためてよく考え、私たち自身で、いじめをなくしていきましょう。」と全校生に呼びかけました。

学校では、各学級担任が全生徒と面談を実施しているほか、全学級において道徳の授業でいじめについて考えるなどして、いじめの未然防止と早期発見・対応に努めています。保護者の皆様、地域の皆様と協力し、安心して学べる学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。



2年生の道徳の授業では、いじめを起こさないための自分の決意を書きました。

### 「見たまま聞いたまま」

5月16日の昼食後、東渡り廊下で、調理員さんがたくさんのごみ袋を運搬中に落としてしまったとき、通りかかった生徒2名が助けてくれたそうです。